

# 31年ぶり明治神宮大会

# 全国4強



## 8 吉持亮汰

## 18 金子丈

**硬式野球部**

31年ぶりの明治神宮野球大会初戦で、大商大は近畿大学と対戦。近畿大は近畿大学野球部との激戦を繰り広げた。近畿大工学部は、1回戦で春の全日本大学野球選手権大会の優勝校・上武大学を倒したダークホース。大商大の先発はエースの近藤大亮(経営4年・浪速高)。初の全国で少し緊張したという近藤は、1回表、2四球と左前打で満塁を築いたものの、2回裏を三振で抑えた。2回裏、先頭の4番・桂依央利(商4年・大成学院大高)が中前にチーム初安打を放つと、次に機打で送り、6番・山神貴雅(経営4年・倉敷商業高)の右中間を破る適時三塁打で先制点を挙げた。そのまま逃げ

31年の時を経て、大商大硬式野球部が神宮に帰ってきた。長い暗闇を抜け、歓喜の胸上げとなった21年ぶりのリーグ戦優勝。そして、関西地区大学選手権で関西一の栄光を手に、意気揚々と乗り込んだ明治神宮大会で全国4強入り。来年の春、全日本大学選手権で、次こそ悲願の日本一に輝け!

切りたかった大商大だが、7回表、近畿大工学部に同点に追いつかれた。そして、1-1のまま決着がつかず、試合は延長戦に突入した。延長10回、死満塁から始まったタイブレーク。11番三振の力投の近藤に替わり、金子丈(公営3年・大阪学院大高)が登板。準備はできていたし、投げたかった。自分はブレッシャーのかかる場面

待を一身に背負って打席に入った吉持は、落着いて2ボール、ライクからの4球目、高めのストレートを打ち返す。これがサヨナラ機飛となり、2-1で劇的な勝利を呼び込んだ。吉持は「とにかく打ちたかった。4年生の1日でも長く野球をしたかった」と笑顔を見せた。

道大④(北海道二連盟)	1	4	4
明治大①(東京六大学)	2	1	1
大商大③(関西五連盟第1)	2	1	1
近畿大工学部⑨(中国・四国三連盟)	0	2	1
上武大⑤(関東五連盟第2)	0	0	0
関西学院大⑧(関西五連盟第2)	0	0	0
中部学院大⑩(北陸・東海三連盟)	0	5	5
桐蔭横浜大③(関東五連盟第1)	0	10	10
亜細亜大⑥(東都大)	0	7	5
八戸学院大④(東北三連盟)	0	6	0
福岡大⑩(九州三連盟)	0	2	0

○は出場回数



第44回明治神宮野球大会 11月16日~11月20日 明治神宮野球場

**21年ぶりの歓喜**

春季リーグ戦で京都産業大学に惜敗し、全国大会出場がかなわなかった大商大は、関西六大学野球秋季リーグ戦での優勝に並々ならぬ闘志を燃やしていた。その大商大ナインが一番苦しかったと口をそろえた試合が、第6節・神戸学院大学との

## 2013年・秋 神宮への道のり



関西六大学野球秋季リーグ戦 8月31日~10月23日 南海中央野球場他

**関西一で神宮へ**

リーグ戦を制した大商大は、次に関西地区大学野球選手権大会に挑んだ。初戦、京滋大学野球連盟代表の京都学園大学を5-0の圧勝で下す。続く2回戦は関西学生野球連盟代表の関西学院大学と対戦し、6回裏に1死

第2戦のサヨナラ勝ち。ここで勝てたから波に乗って優勝できた。この試合を落としていたら神宮はなかったと振り返る。そして、第7節・京都産業大との対戦だ。第1戦は近藤が素晴らしい投球を見せ、5-0で完封勝利を収めた。試合後、近藤は「大事な一戦を任せられて光栄」と誇らしげに語った。第2戦は京都産業大の粘りに1-2で敗



第11回大阪市長杯争奪関西地区大学野球選手権大会 11月2日~11月5日 南海中央野球場

## 中日ドラゴンズ入団



10月24日に行われたプロ野球ドラフト会議。学内では硬式野球部全員でその様子を見守った。待ち望んだ指名は早々に訪れた。まず捕手の桂が中日ドラゴンズから3位指名を受けた。「選ばれるまで不安だった」桂。また、内野手の橋爪大佑(経営4年・東海大付属仰星高)も同じく中日ドラゴンズから育成枠2位指名。一緒のチームに選ばれることなんてまず無いことだからうれしい(桂)。「いつかは一緒に試合に出たい」(橋爪)と互いに喜んだ。



ごっつあんです

**たくさんの応援ありがとうございました**

**「関西六大学野球秋季リーグ戦」**

最優秀選手賞 近藤大亮(経営4年・浪速高)  
最優秀投手賞 桂依央利(商4年・大成学院大高)  
首位打者賞 桂依央利(商4年・大成学院大高)  
担当記者クラブ賞 ペストナイン(捕手) 桂依央利(商4年・大成学院大高)  
ベストナイン(一塁手) 山神貴雅(経営4年・倉敷商業高)  
ベストナイン(三塁手) 吉持亮汰(経営2年・広陵高)

**「第11回関西地区大学野球選手権大会 兼第44回明治神宮野球大会関西地区代表決定戦」**

優勝(初) 近藤大亮(経営4年・浪速高)  
最優秀選手賞

**「関西六大学野球秋季新人戦」** 1回戦敗退

**「第44回明治神宮野球大会」** ベスト4

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校





第57回全日本大学空手道選手権大会  
11月17日・東大阪アリーナ

### 快勝で4強入り

1回戦の東北大学に完勝、2回戦の法政大学に3勝1敗1分、3回戦の慶應義塾大学に3勝1敗と快調に準々決勝へ進出。そして、準々決勝は昨年の同大会で敗

### 打倒・近畿大

10月の全関西大学空手道選手権大会で昨年の戦績を上回る、男子団体組手で準優勝を果たした大



大阪商業大学

# 全日本男子団体組手 2年ぶり 3位

## 宿敵に雪辱ならず

### 雪辱戦に敗れる

強が出そろった。産業大学、帝京大学の4強が出そろった。先鋒、次鋒が続いて勝利し、続く中堅は黒川大和(公営4年・開新高)と和公営4年(開新高)の2人がポイント先取

「第53回空手道系東会全国選手権大会」
大学団体組手 <b>優勝</b>
一般男子中量級組手 <b>優勝</b> 黒川 大和(公営4年・開新高)
一般男子無差別級組手 <b>優勝</b> 飯作 雄太郎(公営1年・保善高)
一般女子組手 <b>準優勝</b> 山田 里奈(公営4年・華頂女子高)

「第68回国民体育大会(東京スポーツ祭2013)空手道競技」
成年男子中量級組手 (熊本県) <b>4位</b> 黒川 大和(公営4年・開新高)
成年男子軽量級組手 (兵庫県) <b>2回戦敗退</b> 高井 魁人(経営2年・神戸第一高)

「第56回全関西大学空手道選手権大会」
男子団体組手 <b>準優勝</b>
優秀選手賞 黒川 大和(公営4年・開新高)
優秀選手賞 西山 貴明(経済4年・芦北高)
女子団体組手 <b>2回戦敗退</b>

「第8回世界ジュニア&カデット・21アンダー空手道選手権大会(スペイン)」
男子個人組手 -78kg級 <b>2回戦敗退</b> 溝口 弘樹(商2年・東大阪大柏原高)

「第57回全日本大学空手道選手権大会」
男子団体組手 <b>3位</b>
優秀選手賞 黒川 大和(公営4年・開新高)
女子団体組手 <b>2回戦敗退</b>

「第41回全日本空手道選手権大会」
男子団体組手 (京都府) <b>優勝</b> 川島 健吾(経営2年・洛陽総合高)
(東京都) <b>準優勝</b> 飯作 雄太郎(公営1年・保善高)
(大阪府) <b>3位</b> 溝口 弘樹(商2年・東大阪大柏原高)
(岡山県) <b>4回戦敗退</b> 岡本 小鉄(商3年・おかやま山陽高)
(山口県) <b>2回戦敗退</b> 古川 涼太(公営2年・高水高)
(熊本県) <b>1回戦敗退</b> 黒川 大和(公営4年・開新高)
(和歌山県) <b>1回戦敗退</b> 濱野 涼(公営3年・東大阪大柏原高)
(熊本県) <b>2回戦敗退</b> 黒川 大和(公営4年・開新高)
(岡山県) <b>2回戦敗退</b> 岡本 小鉄(商3年・おかやま山陽高)

11月に行われた全日本学生拳法選手権大会で、大商大日本拳法部はベスト8の成績を収めた。大商大はシード校のため、2回戦からの登場となった。2回戦・名古屋学院大学には、5勝0分で快勝。3回戦は名古屋学院大学と対戦し、6勝1分で圧勝し、準々決勝へと駒を進めた。準々決勝・関西大学には、先鋒戦と次鋒戦で流れをつかめないまま敗

北。続く三峰戦の矢田秀人(商2年・東大阪大柏原高)が一矢報い流れを断



「第53回全・日本拳法男子個人選手権大会」  
成年の部

ベスト32	西尾 勇輝(経済3年・大商大堺高)
1回戦敗退	西野 貴士(公営3年・今宮工科高)
1回戦敗退	江口 昌吾(経済3年・大商大堺高)

「第39回日本拳法龍峰杯優勝大会」
男子参段の部 <b>優勝</b> 江口 昌吾(経済3年・大商大堺高)
<b>準優勝</b> 矢田 秀人(商2年・東大阪大柏原高)
<b>3位</b> 西尾 勇輝(経済3年・大商大堺高)
男子段外の部 <b>ベスト8</b> 森 健(経済1年・茨田高)

「第29回全日本学生拳法個人選手権大会」
男子の部
3回戦敗退 西野 貴士(公営3年・今宮工科高)
3回戦敗退 江口 昌吾(経済3年・大商大堺高)
3回戦敗退 矢田 秀人(商2年・東大阪大柏原高)
2回戦敗退 西尾 勇輝(経済3年・大商大堺高)

「第58回全日本学生拳法選手権大会」
男子団体 <b>ベスト8</b>

ち切るも、続く中堅戦三将戦でその勢いに乗れなかった。そして、絶対に負られない副将戦。気迫で戦うも惜敗し、準々決勝敗退が決まった。残る大将戦、主将の西尾勇輝(経済3年・大商大堺高)は、勝って意地を見せたかったが、無念の敗北となった。結果、関西大に1勝6敗でベスト8。昨年の4位を越えられなかった。



第58回全日本学生拳法選手権大会  
11月24日 大阪府立体育館

**SHODAI SPORTS 商大スポーツ**

発行 大阪商業大学 学生生活課  
編集 課外活動支援室(スポーツセンター)

印刷 日本ビジネスアート株式会社

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校

# 全日本男子団体ベスト8 思いを拳に突き進め

日本拳法部 11月に行われた全日本学生拳法選手権大会で、大商大日本拳法部はベスト8の成績を収めた。大商大はシード校のため、2回戦からの登場となった。2回戦・名古屋学院大学には、5勝0分で快勝。3回戦は名古屋学院大学と対戦し、6勝1分で圧勝し、準々決勝へと駒を進めた。準々決勝・関西大学には、先鋒戦と次鋒戦で流れをつかめないまま敗

北し、全日本大会の幕を閉じた。文/根本あかり (経済3年・西城陽高)

乱取競技個人戦では3回

「第29回関東学生合気道競技秋季大会」
乱取競技男子個人戦 <b>準優勝</b> 前田 創(商3年・和歌山商業高)

「第20回関東学生合気道競技新人大会」
乱取競技男子個人戦 <b>3位</b> 真室 周(経済2年・懐風館高)

「第44回全日本学生合気道競技大会」
2回戦敗退 前田 創(商3年・和歌山商業高)
3回戦敗退 真室 周(経済2年・懐風館高)
2回戦敗退 前田 創(商3年・和歌山商業高)
乱取競技男子対徒手の部 <b>3位</b> 前田 創(商3年・和歌山商業高)・深井 順矢(経営2年・松山商業高)

「第38回関西合気道競技大会」
短刀乱取競技男子個人戦 <b>2回戦敗退</b> 前田 創(商3年・和歌山商業高)
演武競技男子対徒手の部 <b>3回戦敗退</b> 中嶋 優斗(商1年・伊和高)・石田 智久(公営1年・真面目自由学園高)・岩橋 和(経営2年・大商大堺高)・真室 周(経済2年・懐風館高)

「我楽多」スポーツ新聞の記事を書くことが今回初めてで、わからないことが多くて不安でした。とても大変でした。先輩にも協力してもらいながら、記事を作成することができ、とても良い経験ができました。また応援に行きたいです！(高本)

※文中人名後の( )内は、所属学科学年・出身高校